

令和7年度 テクノ保育園の園評価

1. 強み

- ・子ども一人ひとりの気持ちや発達を大切にし、子ども自身が考え、選択し、行動することを尊重した「見守る保育」に取り組んでいる。職員が子どもの姿を丁寧に観察し、必要な場面で適切な援助を行うことで、子どもの主体性を育む保育を意識している。また、保護者との日々のコミュニケーションを大切に、子どもの成長や園での様子を共有しながら、家庭と連携した子育て支援に努めている。

2. 課題

- ・「見守る保育」について職員間で理解を深め、実践の共通理解をさらに図っていく必要がある。また、保育の質を高めるためには、職員が子どもと向き合う時間を確保することが重要であり、業務の効率化や見直しを継続していく必要がある。保護者支援においても、家庭の状況や保護者の思いを丁寧に受け止め、一人ひとりのニーズに応じた対応を充実させていくことが課題である。

3. 今後の取り組み方針

- ・「見守る保育」への理解を職員間でさらに深め、子どもの主体性を尊重した保育を園全体に定着させていく。職員がゆとりを持って子どもと向き合えるよう、業務の見直しや効率化を進め、保育の質の向上につなげていく。また、保護者一人ひとりの思いや悩みに寄り添い、家庭との連携を大切にしながら、安心して子育てができるよう支援していく。

4. 総評

- ・子ども一人ひとりの主体性を大切にし、「見守る保育」を意識した保育実践を積み重ねることができた。今後は、職員間で「見守る保育」の理解をさらに深め、園全体として共通した保育を実践できるよう取り組んでいきたい。また、業務改善によって職員が子どもと向き合う時間を確保するとともに、保護者の思いに寄り添った丁寧な支援を行い、子ども・保護者・職員が安心して過ごせる園づくりを目指していく。